

## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会（R4.1.17）

### ◇小児接種の実施に向けた準備状況について

#### ＜問1＞神戸

1月11日に、岸田首相が、12歳未満の子どもへの新型コロナワクチン接種を早期に開始すると発言しました。まだ発表されたばかりなので、各自治体ではどのように進めていったらよいのか、大変混乱している状況だと思います。私も幼児教育の現場におりますので、過去に感染者数が増えている状況を見ると子どもたちが感染するのは、ほぼ家庭内感染で、保護者が感染し、子どもも陽性になってしばらくお休みするケースもありました。幸い、園での濃厚接触者はおらず、感染が広がることはなく無事に終わりました。しかしながら、子どもは、新型コロナウイルスに感染しても重症化しにくいと言われていて、感染したお子さんも症状はなく、完治したと伺いました。

そこでおたずねします。

実際に、新型コロナウイルスに感染して、重症化又は死亡した子どもは、どの程度いるのでしょうか、お聞かせください。

#### ＜答弁:医療体制整備室長＞

昨日、1月16日までの累計で、全ての陽性者数は114,079人です。

また、年代別の集計によると、昨日時点で10歳未満の新規陽性者数は、このうち6,906人と報告されております。

重症化した事例は1人ありますが、死亡したお子さんはおりません。

#### ＜問2＞神戸

子どもは重症化しにくいということがわかりました。数の上では、ワクチン接種が本当に必要かどうか悩ましい問題だと思います。それでも、昨年9月に、国立成育医療研究センターが、子どもと保護者を対象に実施したアンケート調査によりますと、小学生の5割から6割が、新型コロナワクチンの接種を「とても受けたい」、「どちらかというとう受けたい」と答え、また、小学生以下の保護者の7割以上が、「とても受けさせたい」、「どちらかというとう受けさせたい」と答えています。

子どもへの新型コロナワクチン接種の実施については、賛否両論あることは存じていますが、このアンケート結果を見る限りでは、接種を受ける子どもと保護者の中では、接種を受けたいという気持ちが、ある程度高まっているのではないかと思います。そこでおたずねします。

そのような中、子どもへの接種開始に向けた準備の状況は、どのようになっているか、お聞かせください。

## ＜答 弁:ワクチン接種体制整備室長＞

国は、早ければ3月にも、5歳以上から11歳以下の小児接種を開始する予定としており、昨年11月16日には、全国の都道府県及び市町村に対して、小児接種の実施を念頭に、接種体制の検討を進めておくよう通知がなされています。

それを受けて、本県では、12月14日に、小児科医療の専門家である、愛知県小児科医会長及び、あいち小児保健医療総合センター長をオブザーバーに招き、「愛知県ワクチン接種推進本部」の会議を開催し、小児接種の接種体制等について、ご意見をいただきました。

出席者からは、「小児の副反応に対応する相談体制をしっかりと整備すべき」といった意見や、「成人と違い、小児接種には手間がかかることから、接種体制を確保するためにも、医療機関に対する財政支援が必要」といった意見が出されました。そうした意見を踏まえ、県では、あいち小児保健医療総合センターを交え、小児接種に対応する副反応の相談体制について、検討を進めているところであります。

また、財政支援についても、全国知事会の間を通じて、知事から、国に要請を行っているところでございます。小児接種を円滑かつ確実に実施していけるよう、市町村、医療機関、医師会等と緊密に連携を図りながら、しっかりと接種体制を整えてまいります。

## ＜要望＞神戸

最後に要望させていただきます。新たな「オミクロン株」により、新規陽性者数が急激に増加し、新型コロナの第6波が襲ってきました。愛知県においても14日には1,317人となり、厳しい状況です。飲み薬も認可されつつありますが、やはり感染しない・感染させないという予防対策を続けていかなければなりません。それには過去のワクチン接種で一気に感染者数が減った事例に基づいて、3回目接種を進めようと動き出しています。

子どもへのワクチン接種をめぐることは、現在、ファイザー社が対象年齢を5歳～11歳に広げるための承認を申請しており、20日にも検討会議が開催されるとのことです。対象者は700万人という数字も出ています。当然、自治体も「できるだけ早く進める」という国の方針に従わなければならないと考えていると思いますが、感染者数の増加や3回目接種の手続き等で混乱しているのが現状です。また親がワクチン接種を受けた時に、副作用がひどかったことで、子どもには受けさせたくないという意見もあるようです。

先ほどの答弁にもありましたように、国と自治体が情報交換や連携を取れるよう、愛知県が中心となって、市町村、医療機関、医師会等と緊密に連携を図っていただきスピード感を持って取り組んでいただくよう、強く要望して質問を終わります。